



日乗連ニュース

ALPA Japan NEWS

発行: 日本乗員組合連絡会議・ALPA Japan

幹事会

〒144-0043

東京都大田区羽田5-11-4

フェニックスビル

TEL.03-5705-2770

FAX.03-5705-3274

E-mail:office30@alpajapan.org

www.alpajapan.org

Date 2009.1.19

No. 32-32

航空安全シンポジウムと銀座デモ行進 IFATCA/IFALPA 代表も参加

「システム性事故における
個人責任追及と社会の利益を考える」
～ 事故再発防止に向けたグローバルスタンダード～

2001年1月31日に発生した日本航空907便と同958便の異常接近事故について、東京地方検察庁は、事故に関係した航空管制官2名を業務上過失致傷罪の容疑で起訴しました。その後、東京地方裁判所は無罪の判決を言い渡しましたが、第2審の東京高裁では逆転有罪となり、現在最高裁判所において審理が行われています。

近年、航空事故のような複雑なシステムの中で発生した事故に関しては、直接エラーを犯した個人の責任を問うことよりも、十分な情報をもとに原因調査を行うことが事故の再発防止につながり、ひいては社会の利益になるとの考え方が認識されつつあります。

このような考えに基づき、日本航空907便事故に関わった2名の管制官に対して最高裁判所で無罪の判決が下されるよう、アピール行動とシンポジウムを企画しました。

多数の皆さんの参加をお願いいたします。

シンポジウムに先立つ29日は、管制官の国際組織であるIFATCAの代表およびパイロットの国際組織IFALPAの代表と共に、最高裁判所・国土交通省・警察庁・運輸安全委員会などに要請行動を行います。

記

日時：2009年1月30日

予定：銀座アピールデモ 1330～1445 銀座水谷橋公園 日比谷（1315集合）

シンポジウム 1500～1900 お茶の水全労連会館2Fホール

・講演 「安全文化の確立について」

IFATCA/IFALPA 代表

・講演 「個人責任追及が社会に与える不利益」

東海大学教授 池田良彦

・パネルディスカッション



水谷橋公園へのアクセス



全労連会館へのアクセス

